

第1号議案 2023年度 事業報告

I. 総括

2023年度を振り返ると、社会的には物価の高騰を身近に感じ、ChatGPTなどに代表されるAI（人工知能）の利用が様々な場面で取り沙汰され、また年明けの元旦に起こった能登半島地震では甚大な被害をもたらしたことも記憶に新しく、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。少し振り返っただけでも激動の年度となった2023年度であったことを感じる。

ここ数年我々の生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、年度当初令和5年5月8日に、5類感染症へと移行され、観光の再開や酒宴開催など、かなりの社会活動は流行前の状態へ戻りつつあるように見える。反面、年が明けた昨今でも感染者の増加が見られ、いまだくすぶっている感は否めない。昨年度の本会事業についてもWEBに加え、対面形式での開催も可能として進めてきた。活動が広範な本会は、様々な事業をWEBなしで開催することはもはや難しくなっているが、対面だからこそそのメリットや対面でなければ実施できない事業もある。特に支部に出向いて行うイベントは、コロナ禍以前のように積極的に展開してきた。

昨年度は事業全体に中止や延期の措置を取ることなく概ね計画通り遂行できており、予定されていた支部での開催事業についても、支部の協力の下順調に進めることができた。この場をお借りしてお礼を申し上げます次第である。

II. 日本診療放射線技師会関連

第86回定時総会では、基本的に開催方式がWEB参加となり、東京へ集まることなく簡便に参加することが可能となった。例年通りの事業を継続・発展させていくなかで、新たな事業も展開していくとのことであり、各都道府県放射線技師会との連携強化による、情報共有や会員サービスの充実について説明がなされた。

継続事業の告示研修については、実習監督者が医師のみならず実務経験のある放射線技師の担当も可能になるなどの変更はあったが、担当理事を中心に、適宜対応しながら進めて来た。札幌支部をはじめ、釧根支部、旭川支部、苫小牧支部にも出向き、全16回を開催した。多くのファシリテータ担当の皆様には開催にご協力をいただき感謝申し上げますと共に、今年度についても継続的なご支援をお願いする。

本会と共催の“診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー”は、例年通り一部北海道独自のプログラムを取り入れ開催した。WEB参加のみならず会場参加も可能として開催したが、会場には10数名の参加者があり、久しぶりに参加者が会場に参集したセミナーの光景を見ることができた。

新たな生涯教育システム（ラダーシステム）については1年間の暫定移行期間が終了し本格運用が開始されている。eラーニングでは無料で受講できるものも多く、自己研鑽のためにもより多くの会員にご利用いただければと思う。

III. 北海道放射線技師会関連

昨年度の学術講演会は定時総会の前日となる令和5年6月17日に開催した。2020年度はやむなく中止としたため、通算第76回として開催した。本会創立75周年記念シンポジウムとした本講演会は、JART 富田副会長をはじめ4名の方々に現在我々診療放射線技師にとって大きな変革の要因であるタスクシフト・シェアを中心に、診療放射線技師100年に向けての課題などについて熱くご講演いただいた。

続く令和5年6月18日には本会定時総会が、本部（札幌医科大学記念ホール）と支部に複数の会場を設置し、WEBを使用してハイブリッドにて開催された。昨年度の

事業計画及び収支予算案等が正式に承認され、新たな年度事業を開始することができた。

現在5部会体制となり活動している部会については、前期には“ふらっと会”研修会及び“腹部領域部会”セミナーがハイブリッド及びウェビナーにて開催され、腹部領域部会セミナーにおいては100名を超える参加者が見られた。後期では“整形外科領域部会（HONeT）”と“頭部・頸部領域部会”さらには“心・大血管領域部会”、前期に続き第2弾となる“腹部領域部会”それぞれによるウェビナーが開催され、これらにも多くの参加をいただいた。会員の役に立つためとご協力いただいている部会の皆様に感謝するところである。また支部から部会への講演依頼などについても、是非とも積極的に活用いただきたい。

放射線管理委員会・放射線機器管理委員会合同企画である「実践型医療被ばく相談セミナー」を令和5年8月20日にオホーツク支部にて開催した。定員12名のところそれを超える申し込みをいただいたが、委員会メンバーの柔軟な運営により希望者全員を受け入れ無事開催することができた。後期では稚内支部にて令和5年10月15日に開催され11名の参加をいただいた。また前日には支部開催読影の補助セミナーが開催され、医師講師及び技師講師それぞれをお迎えし「胸部領域の画像診断」と題し久しぶりの対面形式にて講演をお聞きすることができた。開催に当たりご尽力頂いた支部の方々に改めて御礼申し上げる。

日本放射線技術学会北海道支部との連携の一環として“冠動脈模型作製セミナー”が令和5年7月15日に本会協賛にて昨年に引き続き開催された。

ハンズオン企画では、好評をいただいていた“超音波ハンズオンセミナー”を昨年度も11月に開催、さらにかねてから開催意向がありながらも、なかなか実現できていなかった企画である“3Dハンズオンセミナー”は企業や著名な講師の協力をいただき2月に開催することができた。

6月開催のフレッシューズセミナーに続く形で例年2月に開催している本会独自企画“フレッシューズセミナーその後”については昨年度より内容をリフレッシュし、当直

マスター講座が追加された。多くの参加をいただき好評のうちに終えている。さらには数年来の人気セミナーである”初学者のための臨床MRI“については、オンデマンドにて4回開催され、多くの参加をいただいた。

研修センターの改修は、屋上の防水工事及び外壁の塗装工事を前期中に無事終了し、令和5年7月28日に引き渡し完了している。その他にも、経年劣化が見られる消防設備や看板などが更新され、より安全に快適に会員が利用できる研修センターとして整備された。また冬季に入り暖房用ボイラーの経年劣化による不具合のため、暖房器具の更新も行っている。

本会ホームページのリニューアルは、各支部担当の方にも意見を伺いながらより見やすく、使いやすくすることを目指して検討を進めてきたが、本年4月より新たなホームページが開設されている。是非とも有効に活用いただきたい。

以上、2023年度事業総括とするが、本会活動の根幹を成す学術事業はコロナ禍以前の状態に戻りつつあり、積極的な事業展開が可能となってきた。会員の皆様にとってより有意義な事業を企画、開催するため理事一丸となり邁進していると自負するところである。なお、詳細な報告については以下に掲載する各部報告をご確認いただきたい。

◆◆◆ 2023年度 各部事業報告 ◆◆◆

1. 総務部（庶務渉外担当）

(1) 2023年度会員動向

総会員数： 1,964名

入会者数： 142名(新入会員130名、転入会員12名)

退会者数： 135名(退会126名、転出7名、物故2名)

永年会員数：17名

(2) 2023年度支部別会員数

	令和6年3月末 (道のみ会員)	令和5年3月末 (道のみ会員)
総会員数	1,964 (118)	1,957 (118)
入会員数	142	143
退会員数	135	82
男	1,613 (95)	1,620 (96)
女	351 (23)	337 (22)
札幌	813 (66)	806 (66)
函館	156 (0)	161 (0)
小樽後志	80 (1)	80 (1)
室蘭	69 (1)	72 (1)
苫小牧	122 (3)	126 (4)
空知	86 (11)	87 (12)
旭川	230 (21)	233 (20)
十勝	148 (4)	145 (4)
釧根	114 (2)	102 (2)
オホーツク	100 (2)	98 (2)
稚内	20 (3)	20 (3)
伊達	26 (4)	27 (3)

(3) 会議

定時総会：1回

全道理事会：5回 ※電子理事会1回含む

常務理事会：7回

教育委員会：3回

表彰委員会：1回

支部代表者会議：1回

(4) 文書記録及び整理

公文書発信：99件

庶務文書発信：44件

庶務文書受信：102件

FAX 発信：15件

FAX 受信：6件

電子メール受信：多数

(5) 研修センター利用状況：157回

(6) 会費納入状況：89.8%

(7) 求人広告（HP）：36件

(8) 物故会員：2名

2. 広報企画部

(1) 会報誌の定期発行（5月号2,100部、
9月号2,150部、1月号2,150部）

(2) 求人広告のホームページ掲載（多数）

(3) ホームページの管理運営（随時）

(4) 北海道放射線技師会メーリングリストの運用（多数）

(5) 各事業の記録（写真撮影）

(6) ホームページリニューアルに向けた会議

支部長、支部担当者に相談の上、大枠を決定済

3. 学術部

【1】北海道放射線技師会事業（日放技共催を含む）

(1) 第76回一般社団法人北海道放射線技師会学術講演会

日時：令和5年6月17日(土)

会場：札幌医科大学記念ホール(ハイブリッド開催)

(プログラム)

『一般社団法人北海道放射線技師会 75 周年記念シンポジウム』

● 講演 1

「診療放射線技師 100 年に向けての課題 - 過去・現在・未来 -」

演者：北海道科学大学 保健医療学部

診療放射線学科 松村 俊也 様

● 講演 2

「診療放射線技師法改正の流れと業務拡大について」

演者：一般社団法人北海道放射線技師会

副会長 大野 肇

● 講演 3

「北見赤十字病院におけるタスクシフト・シェアの取り組み」

演者：北見赤十字病院 医療技術部診療放射線科

大友 厚志 様

● 講演 4

「済生会川口病院におけるタスクシフト・シェアの実践と問題点等について」

演者：公益社団法人日本診療放射線技師会

副会長 富田 博信 様

参加者：91 名

(2) 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー

日時：令和 5 年 6 月 24 日（土）

会場：WEB 開催（一部オンデマンド）

（プログラム）

I. 「エチケット・マナー」 齋藤 和香子

II. 「医療コミュニケーション」

市立旭川病院 大野 肇

III. 「医療安全」

NTT 東日本札幌病院 八十嶋 伸敏

IV. 「感染対策」

札幌医科大学附属病院 三角 昌吾

V. 「病気の理解」

① 脳 北斗病院 上田 桂輔

② 消化器 札幌 IBD クリニック 島崎 洋

VI. 「救急 CT」

札幌医科大学附属病院 虻川 雅基

VII. 「被ばく低減」

札幌医科大学附属病院 次木 嵩人

VIII. 「入会案内」

北海道放射線技師会 会長 富田 伸生

※ I～IV はオンデマンド配信

参加者：80 名

(3) 2023 年度日本診療放射線技師会北海道地域学術大会

日時：令和 5 年 10 月 21 日（土）～22 日（日）

会場：札幌医大臨床研究棟講堂+WEB（Hybrid）

1 日目（10 月 21 日）

I. 一般演題（14:40～16:35）

1) セッション 1（14:40～15:40）

座長：船山 和光（勤医協中央病院）

秋谷 俊行（北見赤十字病院）

1. Deep Learning 3D カメラおよび自動撮像範囲調節技術を用いた CT 検査業務の検討

手稲溪仁会病院 診療技術部 佐藤 悠太

2. 高精細 CT が術式決定に寄与した横行結腸癌の一例

小樽掖済会病院 放射線部 大家 佑介

3. VGP を用いた大腸ポリープ自動検出のシステム構築

小樽掖済会病院 放射線部 佐藤 哲太

4. プログラミングを使用した VSRAD データ解析の自動化

小樽市立病院 医療技術部 放射線室

佐々木 斐名

5. 仰臥位困難な腰椎 MRI における条件の検討

手稲溪仁会病院 診療技術部 立田 綾花

6. 外科用イメージを用いた機械的血栓回収療法の試
み

医療法人社団函館脳神経外科病院 放射線課
赤坂 航希

2) セッション2 (15:45~16:35)

座長：山口 大樹 (元氣会札幌整形外科病院)
川原 大典 (NTT 東日本札幌病院)

7. 膝グラビティ撮影法(Gravity Sag View:GSV)におけ
るプレショット撮影の運用に向けた撮影条件の検
討

札幌医科大学附属病院放射線部 次木 高人

8. 膝関節正面撮影に対する撮影条件の適正化及び EI
を用いた線量管理

JA 北海道厚生連旭川厚生病院
医療技術部放射線技術科 橋本 昌樹

9. 高被写体厚における実グリッドと散乱線補正処理
を併用したシステムの有用性

旭川医科大学病院 診療技術部放射線技術部門
磯部 圭介

10. 胸部 X 線画像病変検出ソフトウェアの導入に向け
た有用性の検討

JA 北海道厚生連札幌厚生病院
医療技術部放射線技術科 有山 隆太郎

11. 胸腰椎仰臥位側方向撮影補助具の検討

社会医療法人北斗北病院
医療技術部診療画像科 岡田 一沙

II. 特別講演 (16:45~17:45)

座長：北海道放射線技師会 副会長 秋吉 和也

「STAT 画像所見報告 ーガイドラインの解説と学習
システムについてー」

講師：公益社団法人日本診療放射線技師会

STAT 画像報告委員会

順天堂大学医学部附属順天堂医院

木暮 陽介 先生

III. 表彰 (17:45~)

2日目 (10月22日)

IV. 心・大血管領域部会企画 (9:30~12:00)

テーマ：『虚血性心疾患の画像診断 - 狭心症/心筋梗塞-』

座長：大須田 恒一 (心・大血管領域部会長)

9:30~ 座長提言 函館五稜郭病院 大須田 恒一

9:35~ 1. CT 華岡青洲記念病院 三浦 祐二

9:55~ 2. 超音 遠軽厚生病院 高橋 靖智

10:15~ 3. 核医学 函館五稜郭病院 佐藤 大樹

10:40~ 4. MRI 市立旭川病院 松浦 一生

11:00~ 5. 血管造影 北斗病院 藤井 優司

11:20~ 6. 手術支援画像

札幌医科大学附属病院 越後 雷蔵

11:40~ 7. 総合討論 (質疑応答)

12:00 終了

参加者：一日目 226 名、二日目 151 名

(4) 超音波ハンズオンセミナー

ひとり職場や新たに超音波を習得したい方へ超音波
走査技術を提供する。超音波検査の実機を使用して、実
際にプローブをもって走査しながら超音波の描出のコ
ツやポイントを習得していただく、初級者対象少人数
ハンズオン形式。

日時：令和5年11月12日(日) 9:00~

会場：北海道放射線技師会研修センター 1階会議室

区分：上腹部臓器(肝・胆・膵・脾・腎)コース

各コース：講師1名、受講者5名、募集人数10名

講師：

・JA北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線技術科

北口 一也

・医療法人札幌IBDクリニック 島崎 洋

【タイムスケジュール】

i) 肝臓・胆嚢 走査法 講義 15分

ii) 講師によるライブデモ 15分

iii) ハンズオン 5名×10分=50分

休憩 20分

iv) 膵臓・腎臓・脾臓 走査法 講義 15分

v) 講師によるライブデモ 15分

vi) ハンズオン 5名×10分=50分

全体質疑応答 10分

参加者：8名

(5) 読影の補助セミナー

日時：令和5年10月14日(土) 15:00~17:40

会場：市立稚内病院 7階会議室

内容：『胸部領域の画像診断』

座長：天塩町立国民健康保険病院 津田 健志

● 講演1 15:10~15:55

「胸部CTの再考とDual Energy CTの実践」

講師：手稲溪仁会病院 診療技術部 板谷 春佑

● 講演2 16:00~17:30

「胸部画像の読影 -基本を重視、視野も広げる-」

(含症例検討)

講師：国立病院機構 北海道がんセンター

放射線診断科 南部 敏和 先生

参加者：20名

(6) シリーズ MRI 基礎講習

初学者のための臨床MRI

～ポジショニングから基本撮像まで～

開催形式：WEB開催

● 第1回：令和6年2月10日~2月23日

腹部・骨盤(申込者：96名)

● 第2回：令和6年2月24日~3月2日

頭部・頸部(申込者：83名)

● 第3回：令和6年3月3日~3月15日

胸部(心臓・乳腺)(申込者：74名)

● 第4回：令和6年3月16日~3月30日

上肢・下肢・脊椎(申込者：75名)

(7) 3Dハンズオンセミナー(中級編)

日時：令和6年2月18日(土) 9:55~15:10

会場：北海道放射線技師会研修センター

3階会議室

参加資格：過去3~5年の3D作成実務経験者

募集人数：16名

(ワークステーション1台につき2名)

講師：

・脳神経領域：柏葉脳神経外科病院 平野 透

・心血管領域：札幌医科大学附属病院 田仲 健朗

プログラム

9:55~ 開会

10:00~12:00 講義1

12:00~13:00 昼休憩

13:00~15:00 講義2

参加者：11名

(8) フレッシュアップセミナー ~その後~

日時：令和6年2月23日(金・祝) 14:00~

会場：北海道放射線技師会研修センター+WEB(Hybrid)

(プログラム)

14:00~14:05 開会挨拶 会長 富田 伸生

14:05~14:35 講義1. 医療安全について

北斗病院 加藤 徳史

14:35~15:05 講義2. 検査説明について

函館五稜郭病院 小林 聖子

15:15~16:45 講義3. 『当直マスター講座』

「頭頸部領域」 小樽市立病院 伊原 陸

「腹部領域」 オホーツク海病院 上野 誠

「整形領域」 西岡第一病院 佐藤 暢俊

参加者：68名

(9) 部会企画

① 腹部領域部会企画

◆ 第2回 腹部領域部会セミナー

日時：令和5年7月20日（木）19:00～20:30

開催形式：ZOOM ウェビナー（WEB 開催）

テーマ：『黄疸歩道は黄色信号～立ち止まって考えよう～基礎編～』

「主訴 黄疸」そんなオーダーが入った時、あなたならどう考え、どう対応する？

Opening remarks 勤医協中央病院 船山 和光

Chairperson オホーツク海病院 上野 誠

● US：19:05～19:25

『胆膵領域の解剖と基礎的な超音波所見から描出テクニクまで』

講師：函館市医師会病院 加藤 洋

● CT：19:25～19:45

『CT 検査の役割と有用な画像提供のためのポイント』

講師：斗南病院 高林 健

● MRI：19:45～20:05

『黄疸といえば MRCP ～基礎とポイント』

講師：札幌厚生病院 牧野 涼

Discussion：20:05～20:25

Closing remarks 手稲溪仁会病院 阿部 開斗

参加者：108名

◆ 第3回 腹部領域部会セミナー（予定）

日時：令和6年3月7日（木）19:00～20:30

開催形式：ZOOM ウェビナー（WEB 開催）

テーマ：『黄疸歩道は黄色信号～立ち止まって考えよう～応用編～』

「主訴 黄疸」そんなオーダーが入った時、あなたならどう考え、どう対応する？そのヒントがここにある

Opening remarks 札幌厚生病院 牧野 涼

Chairperson 斗南病院 高林 健

● US：19:05～19:25

『臨床症例とエコーガイド下減黄処置の解説』

講師：函館市医師会病院 加藤 洋

● MRI：19:25～19:45

「黄疸といえば MRCP ～臨床画像編～」

講師：名寄市立総合病院 連石 奈保子

● 手術関連：19:45～20:05

「黄疸に対する治療支援画像提供のポイント」

講師：手稲溪仁会病院 阿部 開斗

Discussion：20:05～20:25

Closing remarks オホーツク海病院 上野 誠

参加者：77名

② 整形外科領域部会企画

2023年度 HONEt winter seminar

日時：令和5年10月18日（水）18:00～20:00

参加形式：ZOOM ウェビナー（WEB 開催）

テーマ：『下肢の整形外科～THA、TKA を中心に～』

座長：山口 大樹（HONEt 部会長）

技師講師：医療法人溪仁会手稲溪仁会病院

診療技術部 中島 広貴・塩田 正和

医師講演：医療法人溪仁会手稲溪仁会病院

整形外科 相澤 哲 先生

参加者：97名

③ 頭部・頸部領域部会企画

頭部・頸部領域部会 WEB セミナー

日時：令和5年11月17日（水）19:00～20:40

開催形式：ZOOM ウェビナー（WEB 開催）

テーマ：『頭部領域における MRI ガイド下集束超音波治療（MRgFUS）』

座長：頭部頸部領域部会 上田 桂輔

● 講演 1「Diffusion Tensor Tractography の基礎と FUS での活用方法」

講師：柏葉脳神経外科病院 診療技術部

放射線科 鈴木 淳平

- 講演 2 「ふるえの診断と治療 ～MRI ガイド下集束超音波治療を中心に～」

講師：国立病院機構 宮城病院 脳神経外科部長

仁村 太郎 先生

参加者：43 名

④ 心・大血管領域部会企画

第 3 回心大血管領域部会 WEB セミナー

日時：令和 6 年 2 月 21 日（水）19:00～20:00

開催形式：ZOOM ウェビナー（WB 開催）

テーマ：『心臓 CT ー基礎編ー』

- 講演 1 「心臓 CT の基礎」

講師：市立旭川病院 松浦 一生

- 講演 2 「心臓 CT の造影方法」

講師：華岡青洲記念病院 三浦 祐二

参加者：74 名

【2】日本診療放射線技師会主催事業

(1) 告示研修

- ① 札幌支部:令和 5 年 5 月 20 日～21 日
北海道科学大学 一日目 44 名、二日目 45 名
- ② 札幌支部:令和 5 年 7 月 1 日～2 日
北海道科学大学 一日目 45 名、二日目 42 名
- ③ 釧路支部:令和 5 年 8 月 26 日～27 日
釧路赤十字病院 一日目 46 名、二日目 43 名
- ④ 旭川支部:令和 5 年 9 月 17 日～18 日
市立旭川病院 一日目 42 名、二日目 24 名
- ⑤ 苫小牧支部:令和 5 年 10 月 7 日～8 日
苫小牧市医師会 一日目 31 名、二日目 25 名
- ⑥ 札幌支部:令和 5 年 11 月 25 日～26 日
北海道科学大学 一日目 45 名、二日目 38 名
- ⑦ 札幌支部:令和 6 年 1 月 20 日～21 日
ホテルライフオート札幌
一日目 45 名、二日目 38 名

- ⑧ 札幌支部:令和 6 年 2 月 3 日～4 日

ホテルライフオート札幌

一日目 43 名、二日目 22 名

【3】学術部外事業

(1) ふらっと会（部会）企画

- ① 第 6 回ふらっと会研修会

日時：2023 年 7 月 14 日（金）19 時～

開催形式：ZOOM ウェビナー（WB 開催）

テーマ：『みんなで学ぼう！仕事と暮らしの整え方』（プログラム）

開会のあいさつ

- 講演 1 「男性の育児休暇取得について～管理者の立場から～」

講師：

- ・北海道社会事業協会小樽病院 渡邊 直輝 様
- ・医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 神山 哲也 様

- 講演 2 メンタルヘルスについて

「日々の出来事にどう向き合うか」（仮）

講師：旭川赤十字病院 医療技術部 医療技術課

公認心理士 臨床心理士 高谷 桃子 先生

参加者：30 名

- ② 第 7 回ふらっと会研修会

日時：令和 5 年 12 月 2 日（土）14:00～17:00

会場：北海道放射線技師会研修センター＋WEB

(Hybrid)

(プログラム)

1. 新人教育に関する悩み事例

ふらっと会 福屋 香菜子

2. 特別講演

『指導者の「常識」をアップデートしよう！～ケースで学ぶ指導スキル～』

講師：鈴鹿医療科学大学保健衛生学部

放射線技術科学科 武藤 裕衣 先生

3. グループワーク

教え上手になるための具体的レクチャー

参加者：43名

(2) 日本放射線技術学会北海道支部との共催事業

1. 冠動脈模型作製セミナー

日時：令和5年7月15日(土) 13:00～16:00

会場：北海道放射線技師会研修センター+WEB

(Hybrid)

内容：模型を楽しく作成しながら血管の走行や血管名を覚える

参加者：本会から3名

2. 第6回専門委員会合同セミナー

日時：令和5年9月15日(金) 18:30～20:30

会場：WEB開催

内容：本セミナーは骨転移を主テーマに、画像診断から治療までを各領域のスペシャリストに講演していただきます。さらにMRIと核医学に関しては、前立腺癌の骨転移に着目した内容

4. 各種委員会報告

【1】教育委員会

下記の日程にて教育委員会を3回開催した。学術講演会、地域学術大会、研修センター活用企画、部会企画等の北海道放射線技師会学術事業に関して、会員のニーズを反映し、また企画の準備が円滑に進められるように、支部教育委員、教育評議員、各部会長らから意見を募り提案及び助言等を行った。

- 第1回：令和5年7月3日(月) 19:00～

会場：WEB会議

- 第2回：令和5年10月5日(木) 19:00～

会場：WEB会議

- 第3回：令和6年1月12日(金) 19:00～

会場：WEB会議

【2】放射線管理・放射線機器管理合同委員会

(1) フレッシュヤーズセミナーへの講師派遣

日時：令和5年6月24日(土)

内容：「医療被ばくの現状と、その低減に向けた取り組み」

講師：次木 嵩人(放射線管理委員)

(2) 実践型医療被ばく相談セミナー

① オホーツク支部

日時：令和5年8月20日(日) 8:50～14:45

会場：北見赤十字病院 8番CT室、北館3階大会議室

【タイムスケジュール】

8:50～ オリエンテーション

9:00～ 講義(MIDSOF概要)

次木 嵩人(放射線管理委員)

9:20～ 計測実習

10:30～ 講義(医療職と患者の情報共有)

目黒 靖浩(放射線機器管理委員長)

11:00～ 解析結果報告

次木 嵩人(放射線管理委員)

12:15～ オリエンテーション

目黒 靖浩(放射線機器管理委員長)

12:25～ グループ討論1 と 発表

13:20～ グループ討論2 と 発表

14:15～ 総括

目黒 靖浩(放射線機器管理委員長)

参加者：15名

② 稚内支部

日時：令和5年10月15日(日) 8:50～14:45

会場：市立稚内病院 7階会議室

【タイムスケジュール】

8:50～ オリエンテーション

9:00～ 講義(MIDSOF概要)

次木 嵩人（放射線管理委員）

9:20～ 講義（計測演習）

次木 嵩人（放射線管理委員）

10:05～ 解析結果報告

次木 嵩人（放射線管理委員）

10:35～ 講義（医療職と患者の情報共有）

目黒 靖浩（放射線機器管理委員長）

11:50～ オリエンテーション

目黒 靖浩（放射線機器管理委員長）

12:00～ グループ討論1 と 発表

13:10～ グループ討論2 と 発表

14:15～ 総括

目黒 靖浩（放射線機器管理委員長）

参加者：11名

(3) 北海道原子力防災訓練への技師派遣

日時：令和5年10月24日（火）前日会場設営

25日（水）北海道原子力防災訓練

会場：倶知安町世代交流センター・絵本館

参加者：9名